

授業科目	教育実習 I	2 単位	選択	実習	1 学年前期	担当 教員	川田公仁 中川武 小野崎美奈子 櫻井ますみ					
授業の概要	① 実習を通して幼稚園および認定こども園（以下、幼稚園等とする）の役割と機能および教師の役割と職務内容を理解する。 ② 幼稚園等の一日の流れを把握し、子どもたちがどのように生活しているのか、またそのために環境（職員構成、物的・人的環境など）がどのように工夫されているのか理解する。 ③ 教師が発達段階や性格をふまえながら子ども一人ひとりに対してどのように関わっているのかを観察し、学ぶ。 ④ 教師からの指導をふまえ、自己の課題を認識する。											
到達目標				学習成果 I			学習成果 II			学習成果 III		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 実習園の概要、教育理念、教育目標および教育方針を知る。				◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2. 幼稚園等の役割・機能を理解する。				○	○	○	○	○			○	
3. 一日の保育・教育の流れを知り、幼稚園等における保育・教育の実際と子どもの生活状況を理解する。						○	◎	◎	◎	◎	○	
4. 見学・観察を通して、幼稚園等の人的・物的環境を理解する。						○	○	○	◎	◎	○	
5. 子どもの興味・関心、友だちや教師との関わり、遊具や用具の使い方、並びに発達の状況など子ども全般についての理解を深める。							◎	◎	◎	◎	◎	
6. 教師の保育・教育方法や子どもとの関わりを通して、教師の役割と職務内容を理解する。							◎	◎	◎	◎	◎	
7. 実習園で実施している特別支援教育、預かり保育および子育て支援の実際を理解する。							○	○	○	◎	○	
8. 家庭との連絡および連携の実際を理解する。										◎	◎	
凡例 ◎：学習成果 I～III を獲得するために特に重要な目標、○：学習成果 I～III を獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
<実習の内容> 1. 幼稚園等の役割と機能を学ぶ ・実習園の教育理念と教育目標および教育方針を理解する。 ・職員構成や物的、人的環境を把握する。 ・幼稚園等の保育形態（縦割り保育、一斉保育、自由保育等）をふまえながら観察し、どのような良さがあるのか考察する。 ・実習園においてはどのように特別支援教育や預かり保育、子育て支援が行われているのか理解する。 ・実習園がどのように家庭とどのような機会にどのような方法で連絡や連携をとっているのか理解する。 2. 子どもの理解 ・子どもたちの生活している様子を観察し、一人ひとりを個別化できるように努める。 ・発達段階をふまえながら子どもたちを観察し、大学で学んだ知識と現場での体験を関連づける。 ・子どもへのかかわりにおいて対応に困ったり、疑問に感じたことは積極的に教師に相談し、助言を仰ぐことを心がける。 ・いただいた助言は翌日以降の実習で活かせるように意識する。 3. 教師の役割と職務内容の理解 ・教師が子どもたち一人ひとりに対してどのようにかかわり方を変えているのか理解する。 ・子どもたちへのかかわり以外の場面においてどのような職務を行っているのか理解する。												

4. 自己の課題の明確化

- ・実習日誌や日々の保育、反省会等で受けた助言等について素直に受け止め、翌日以降の実習につなげることを心がける。
- ・実習中は客観的に自分を見ることを意識しながら臨む。

5. 守秘義務

- ・幼稚園等がどのように子どもや保護者、職員等の個人情報を管理しているのか理解する。
- ・実習日誌や実習中にとったメモ、実習において知り得た情報の取り扱いには細心の注意を払う。

<実習の形態と方法>

○見学実習

- ・幼稚園等での実習を通して実習園の子ども、職員構成、物的・人的環境を把握する。
- ・実習園の保育形態（縦割り保育、一斉保育、自由保育等）を把握する。
- ・幼児教育について子どもと教師の姿から学ぶ。
- ・実習園の教育方針や目標などを理解する。

○観察実習

- ・子どもと教師の姿を課題をもって観察する。
- ・保育・教育の場（環境、一日の流れ、子どもたちの動き、教師の活動等）を観察する。
- ・子どもや教師の活動を通して、子どものケアの仕方や環境構成の方法を学ぶ。

<留意点>

- ・実習中に知り得た情報（子どもおよび教職員の氏名や生年月日、自宅の住所・電話番号、成育歴、障がいや病名、家庭状況など）については、実習生であっても守秘義務が課せられるため、取り扱いには細心の注意を払う。
- ・一人ひとりの子どもの名前を早く覚える。
- ・実習園のきまり、約束事、日常的行事などを把握する。
- ・園生活の流れを踏まえて、しっかりと観察し記録をとる。絶えずメモをとっていると子どもの活動に入っていけなくなるので、素早くさりげなくとることを心がける。
- ・担当教師の指示を得て行動し、独断では行動しないようにする。
- ・すべての保育・教育現場において何をすべきかを考え、敏速に行動する。
- ・疑問に思うところは、話し合いの中で積極的に質問をし、指導を受ける。

成績 評価	実習日誌（ 40% ）、実習園の評価表（ 40% ）、実習報告書（ 20% ） 合計 100 %		
教員 から の コ メ ン ト	<ul style="list-style-type: none"> ・実習は受け入れてくださった幼稚園等の多大なご協力があって初めて実現できるものです。「実習をさせていただく」という感謝の気持ちを忘れず真摯な気持ちで実習に臨んでください。 ・実習中は幼稚園、大学、大学の实習担当教員との連絡が必要に応じてすぐに取りれるようにしましょう。 ・実習生としての心構えや社会人としてのマナー、守秘義務には細心の注意を払いましょう。 ・教師からの助言等は素直に受け止め、積極的に取り組んでください。 		
教科 書	書名 著者 発行所	推薦 図書	書名 著者 発行所

